

食材の放射能検査情報 H27-第3号

2月度・放射能検査の結果(ご報告)

放射能検査は、総合科学新潟研究所が取りまとめている国内の放射能測定結果(社内 LAN で毎週情報を共有化)を踏まえて品目・産地の選定を実施し、大庄基準で定めた独自のスクリーニング検査の基準による、放射能汚染の可能性がある地域および品目の放射能測定を 133 点実施致しました。

2月のスクリーニング検査結果(詳細は別紙)

検査品目数	合	否
133 点	133 点	0 点

〔説 明〕

1 2月のスクリーニング検査結果

- ① 2月の検査対象点数 133 点について、全て安全であることを確認いたしました。
- ② 検査対象の内訳は、青果物 67 点、水産物 30 点、畜産物 36 点です。
- ③ スクリーニング検査結果については、必要により外部検査機関による精密分析を実施し、結果を比較することで検査の妥当性の検証を行っております。

2 今後の対応について

- ① 今後とも、新潟研究所が汚染動向を毎日把握し、注意が必要な産地・品目を明確にして社内において情報を共有し、食材使用に活かすとともに、必要な検査を実施してまいります。
- ② なお、東北の食材については、復興支援のために安全性を確認したものは出来るだけ使用していきたいと考えています。
- ③ 流通している食品について汚染の可能性は、かなり低くなってきましたが、特定の品目では国内基準を超えるものもあるため、お客様の信頼が得られるまで、調査を継続していきたいと考えています。

<参考>

- 1 食材の使用対象(地域・品目)については、自社の総合科学新潟研究所が全国の自治体による放射能検査結果の結果を毎日把握し、出荷制限の追加・解除、50Bq 以上検出された地域・品目のデータと地図を物流センターおよび各店舗に毎週提供して食材仕入れの参考にしています。
- 2 一連の取組みの徹底により、汚染された食材の使用を回避できていると考えております。

この報告書は、大庄総合科学新潟研究所がとりまとめております。

測定データ

食材の放射能測定結果

1 スクリーニング検査

測定：株式会社大庄 商品本部

// 食品衛生研究所

年・月		青果物			水産物			畜産物			合 計		
		点数	合	否	点数	合	否	点数	合	否	点数	合	否
H 23		1,650	1,650	0	125	125	0	96	96	0	1,871	1,871	0
H 24		2,467	2,467	0	562	562	0	161	161	0	3,190	3,190	0
H 25		1,778	1,778	0	685	685	0	283	283	0	2,744	2,744	0
H 26		1,048	1,048	0	469	469	0	363	363	0	1,880	1,880	0
H27	1 月	66	66	0	33	33	0	25	25	0	124	124	0
	2 月	67	67	0	30	30	0	36	36	0	133	133	0